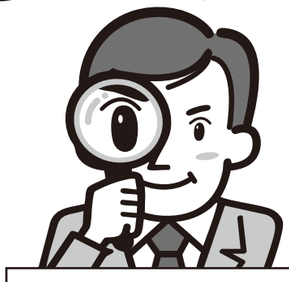
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2026 4

効率的な学習が合格を引き寄せます

協力：麻布個人指導会

10月も下旬を迎え、東京都・神奈川県私立中学の入試まで残り100日を切りました。6年生は土日の特訓授業や年内は毎月実施される模擬試験に加え、志望校の過去問演習にも熱心に取り組んでいるはずです。

今回の専門家庭教師の眼は「効率的な学習が合格を引き寄せます」と題し、麻布個人指導会のベテラン講師が入試を成功に導くため、直前期の勉強への理想的な取り組み方を受験生に伝授します。受験までの残り3か月を有意義な時間にするためにも、ぜひ活用してください。



西山 隆（にしやま たかし）講師

大手進学塾の講師を歴任し、自ら塾を設立・指導した経験も持つ。家庭教師としてのキャリアも豊富な理系教科指導の専門家。培われた指導技術と的確なアドバイスには定評があり、受験生を力強くサポートしている。

最近の合格実績

筑波大駒場、開成、麻布、桜蔭、女子学院、駒場東邦、栄光学園、聖光学院、慶応普通部、慶応湘南藤沢、早稲田実業、早稲田、海城、浅野、豊島岡女子、頌栄、東洋英和、横浜共立など。

算数　受験までまだ時間はあります　系統学習も積極的に組み込む

●極端な勉強に舵を切るにはまだ早い

過去問演習で何が一番大変かと聞くと、多くの生徒は「直しが終わりきらない」ことを挙げます。週5，6日の通塾日があり、模擬試験も毎月あります。ここからの心がけで大事になってくるのは、塾の授業をなるべく省エネで乗り切ることです（スキマ時間を見つけて宿題を終わらす）。どの塾も受験まで満遍なく単元を拾う系統学習が続きます。第一志望の算数の出題がわかりやすい場合（例えばここ5年規則性が出ていない、など）だと、出ない単元を勉強するのは時間の無駄と考えてしまうことがあります。ただ、現段階での受験予定校のまま2月1日を迎える割合は低く、併願校の変更などが起こる可能性はあります。まだ系統学習を捨てる時期ではありません。



●受験校の過去問は2周するのが理想

1月の埼玉、地方校受験から始まり、2月の午後受験も利用する受験生が増えました。それに伴い受験校が7，8校にのぼるケースが多くなっていますが、入試までにどの中学校も2回過去問を解いておきたいです。1回解いて正解を覚えてしまっているケースがあるかもしれません。ただ答えが合っていればOKとするのではなく、解答に至るプロセス（立式や図の書き方）も重視しましょう。そのためにも、過去問は問題集に直接書き込まず、計算用紙を準備して演習後も捨てずにおくのが得策です。もし実物の過去問が入手できていれば、計算スペースの広さを確認しておきましょう。今の時期だとまずは6割の得点が目標になります。6割取れると今後の受験勉強に自信を持って取り組めます。

●そのミス、本当に直すべきでしょうか

過去問演習を通して実力を引き上げるにはやり直しの徹底が不可欠です。受験までの時間を有効活用するために必要なのは、不正解を①計算や設問の読み違いなどのケアレスミス、②解法は合っていて、あと一息で解けたであろう問題③解説を読んでもピンと来ない問題、と3分類することです。①と②に関してはもう一度解き直すことで対処できますが、③は塾の先生や家庭教師に質問するようにしましょう。その中には正答率20％未満の「捨て問」も含まれます。どの問題を直すべきなのかについては必ずアドバイスを受けてください。過去の受験生の正答率がわかる場合、50％以上なのに間違えてしまった場合は解き直しが必須です。

理科　思考系問題は冷静に取り組み　知識の定着も十分時間を割く

●計算が苦手でも悲観的になることはない

理科の指導で受ける質問は、力学や電流、水溶液の中和反応に関するものなど、計算問題がほとんどです。難関上位校に限らず出題されるので、苦手意識を持ったまま今を過ごすのは危険だと考えている家庭が多いです。ただ、実際の入試では計算の必要な問題は全体の3，4割で、さらにその中の3，4割が難問に分類されます（全体の1割程度が本当の難問レベルとなります）。理科全体の点数を上げることを目的にするならば、その難問に時間を割くよりも動物や植物、天体などの知識の定着を図る方が効率的ともいえます。ここに関しては迂闊に判断せず、必ずプロの先生に相談してください。

●生物の知識整理はビジュアルも併用

生物分野の知識は図鑑などビジュアルも頭に入れておくことが重要です。お勧めなのが公園の「定点観測」で、春夏秋冬の生き物の様子（草木がどうなっているか、どういった場所にどんな昆虫がいるか、飛ぶする鳥にはどんな種類がいるかなど）を一覧表にしてまとめてみます。実際に近くの自然豊かな公園に足を運んでも思い出しながらでも良いです。これを表に整理することで知識として定着しやすくなります。針葉樹＝常緑樹というイメージがありますが、公園の並木道によくあるメタセコイアは紅葉します。

●時事は最新のものだけ吸収しておく

今年起こったものは時事問題として出題される可能性があります。特に9月に発生した線状降水帯による関東地方の水害、ネパールで起こった洪水など、大きな被害が出て記憶に新しいものがあります。線状降水帯が発生するメカニズムは説明できるようにしておきましょう。また、東南アジアでは大規模な火山の噴火もありました。細かい知識になりますが、東南アジアなどプレートの境界近くで発生する噴火はマグマの粘り気が強く大規模なものになりやすいのに比べ、ハワイやアイスランドなどホットスポットでの噴火はマグマの粘り気が弱くさらさらしていて、噴火も小規模なものになりやすくなります。

国語　出題傾向が多様化されても　訓練すれば必ず対応できる

●過去問演習を通してトレンドを知る

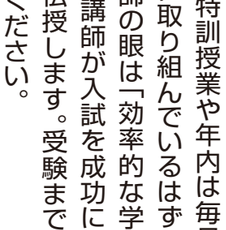
過去問のデータを見ると国語は算数などと比べて、比較的点差がつきにくい科目です。これが逆に恐いところでもあり、正答率の高い問題で間違えてしまうと周りとの差がついてしまうことになります。解き直しは全ての受験生がおこなっていると思いますが、絶対に外せないのは選択問題の勘違いなど明らかにミスによる誤答問題。記述を中心に出題される学校は書き直しをやらないといけません。ここ最近の入試におけるトレンドは解答に組み込むべきキーワードが二つ以上の問題です。解答に必要なキーワードを二つ探し出せれば安心してしまいがちですが、特に制限字数の長い難関上位校の記述は複数個のキーワードを求められるケースが多いので注意しましょう。やり直しの際には2，3回は書き直しが必要です。

●盲点になりやすい特殊な出題に備える

もう一つ、最近の国語入試の流行りが「表やグラフ、図と文章を合わせて読み解く問題」です。具体的な学校名を挙げると、栄東や三田国際科学学園、東京都市大付属などの学校で出題されることがあります。これまでの塾での問題演習ではあまりお目にかかったことがないタイプの問題だと思います。受験を考えている場合は出題傾向に慣れるためにも似た出題傾向の中学校を含めて、過去問演習に抜かりなく取り組んでおくべきです。また、詩や短歌、俳句などの韻文、文学史も学校によって出題の幅があります。表現技法や季語を忘れてしまっているというお子さんは多いと思います。文学史の復習はまず時代毎に代表的な作家を整理し、次にそれぞれ主だった作品名を並べて書き出していく方法が混乱せずに済みます。

●今からできる、点数を底上げする勉強

入試まで残り100日を切ったところですが、まだ国語の得点は上げられます。文章読解力を引き上げるためには語彙力が不可欠です。意外な落とし穴になりがちなのが畳語です。畳語という言葉自体なじみのないものかもしれませんが、「みるみる」「やれやれ」「おろおろ」「さらさら」など日常会話で使うことが少ないのですが、物語文でよく目にする表現です。また「パラドックス」「ジレンマ」「センス」「マイノリティ」などの外来語も詳細でなくても大体の意味がつかめることで、説明文の読解における精度が上がります。知識というと漢字や慣用句、ことわざなど問題として出されるものを強化対象に考えがちですが、語彙は増やしていくと読解力の向上、つまり入試での得点力アップにつながります。受験生は残り少ない時間で必ず取り組んでほしいのですが、5年生以下のお子さんにもお勧めです。



高橋 晋子（たかはし しんこ）講師

個別指導塾や家庭教師として受験指導の経験を積み上げている文系教科指導の専門家。国語（社会）嫌いの受験生も、ムダのない指導で着実に得点力を引き上げている。穏やかな人柄で多くの受験生から慕われている。

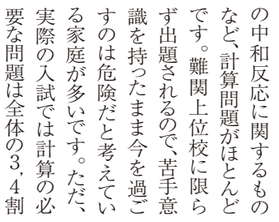
最近の合格実績

女子学院、鷗友学園、浅野、サレジオ学院、芝、攻玉社、世田谷学園、立教池袋、頌栄、大妻、普連土、横浜雙葉、洗足学園、鎌倉女学院、法政第二、桐蔭学園、成城学園、森村学園など。

社会　軽視されがちな科目だから　ライバルと差をつけられる

●表面をさらうだけの復習は避けるべき

4教科の勉強で一番後回しにされやすいのが社会です。「直前期に詰め込めば十分間に合う」と考えているご父母も多いと思いますが、ノーマークに近い科目だからこそ実力の差が出やすく、入試でカギを握ることになります。特に地理は丁寧に勉強をしてほしいです。屋久島がなぜ世界自然遺産になっているのかと問われ、「縄文杉など、樹齢数千年の樹木が見られるから」と答えるのは不十分です。それにプラスして「亜熱帯性の植生から高山植物の植生までが垂直分布しているから」これでようやく○がつきます。



表面的な理解ではなく、細部まで注意深く見直す勉強がこの時期必要になります。

●歴史を固めれば社会の得点力は上がる

地理は産業、地形と様々な角度から出題されますが、歴史はオーソドックスな出題がされます。ここで一つ注意してほしいのですが、「歴史の復習＝年表の見直し」と考えないでください。大まかに時代の特色をおさえ、次にその時代の核になる人物を中心に関連する人物を紐付けしていきます。例えば平安時代では桓武天皇→坂上田村麻呂（征夷大将軍に任命し、蝦夷を征伐させた）、最澄、空海（この時代に生まれた天台宗と真言宗を保護した）といった感じです。歴史の流れをおさえるには、塾のテキストでは少し細かすぎるきらいがあります。意外に学校の教科書がお勧めです。

●公民の復習は的を絞ってコンパクトに

最後に公民と時事に関してです。公民は今年勉強した分野で、まだ記憶に残っていると思います。地理・歴史の配点が公民に比べて多くの学校で高くなっていますので、費やす時間はあくまで地理と歴史が中心になるように意識してください。公民は出題が狙われやすい憲法、地方自治に関する復習を重点的に行います。そこに時事問題の勉強が加わりますが、時事問題は学校によって出る・出ないがはっきりしていますし、出るとしても2，3問と言ったところです。写真が豊富な時事のテキストに惹かれてしまい長時間読み込むようなことのないように計画的な時間配分をしましょう。

― 教務の現場から⑥ ―

●赤いとうもろこしみたいな植物

「部屋に緑があると運気が上がる。」最近何かのネット記事を目にして、占いを過度に信じてしまう私は観葉植物を近所の花屋で買ってきて部屋に置きました。買ってきたのは秋に不釣り合いなハイビスカスと、タイトルにある謎の鉢植えです。晴れていたら朝ベランダに出して夕方にしまう。水やりと液体肥料は適当に。するとハイビスカスは買ってきて2週間ほどでオレンジ色の花を咲かせました。一方、謎の観葉植物はとうもろこしみたいな先端部分がにょきにょきと伸びてきました。

花屋の店員さん曰く「世話しすぎるとうまく育たないです」とのこと。植物が生まれ持つ生命力を大事に、後はそれを維持できる最低限の水と肥料を与えるのみ、ということでしょうか。ここにお子さんの学力を伸ばすための秘訣がある気がします。

教務：奥野

学生は一切派遣していません

創立40年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

260校にのべ722名の受験生が合格いたしました

2026年 中学受験合格実績（五十音順）

男子 ～134校のべ391名の輝くゴール～				女子 ～126校のべ331名の輝くゴール～			
青山学院	2名	成城	5名	青山学院	2名	成蹊	4名
浅野	5名	世田谷学園	6名	青山横浜英和	2名	成城学園	3名
麻布	5名	専修大松戸	5名	跡見学園	5名	洗足学園	5名
市川	7名	高輪	5名	市川	6名	中央大附属	3名
栄光学園	3名	中央大附属	2名	浦和明の星	6名	中央大附属横浜	2名
海城	6名	筑波大駒場	2名	桜蔭	3名	筑波大附属	1名
開成	3名	東京都市大付属	9名	鷗友学園	5名	東京女学館	5名
開智	9名	東京農大第一	3名	大妻	8名	東邦大東邦	5名
学習院	4名	桐朋	4名	大妻中野	5名	東洋英和	5名
暁星	1名	東邦大東邦	5名	学習院女子	5名	豊島岡女子	4名
慶応湘南藤沢	2名	獨協	5名	神奈川大附属	2名	都立三鷹	1名
慶応中等部	1名	都立立川国際	1名	吉祥女子	4名	日本女子大附属	2名
慶応普通部	4名	都立富士	1名	共立女子	5名	広尾学園	3名
攻玉社	7名	広尾学園	4名	慶応湘南藤沢	1名	フェリス女学院	1名
国学院久我山	3名	広尾学園小石川	3名	慶応中等部	2名	雙葉	2名
駒場東邦	5名	法政大学	3名	恵泉女学園	4名	普連土学園	4名
栄東	18名	法政第二	3名	晃華学園	2名	法政大学	2名
サレジオ学院	2名	本郷	6名	香蘭女学校	4名	法政第二	3名
芝	8名	武蔵	3名	国学院久我山	3名	三田国際科学	2名
芝浦工大附属	2名	明大世田谷	4名	栄東	15名	三輪田学園	5名
渋谷教育渋谷	5名	明大中野	7名	実践女子学園	4名	明大世田谷	2名
渋谷教育幕張	4名	明大明治	2名	品川女子学院	3名	明大明治	2名
城北	8名	立教池袋	2名	渋谷教育渋谷	2名	山脇学園	7名
巣鴨	5名	立教新座	5名	渋谷教育幕張	3名	横浜共立	2名
逗子開成	4名	早稲田	6名	頌栄女子学院	4名	横浜雙葉	1名
成蹊	2名	早稲田高等学院	3名	女子学院	5名	立教女学院	3名
聖光学院	5名	早稲田実業	3名	白百合学園	3名	早稲田実業	1名
		他多数合格				他多数合格	

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

◆受験生専用 志望校突破コース◆

入会金不要で入試まで指導します

中学入試まで3か月余りとなりましたが、まだ成績と志望校とに開きがある受験生も多いのではないでしょうか。専門家庭教師が何を重点的にやるべきか、過去問はどのように進めたら効果的かなど、入試の得点に直結する指導をいたします。教務スタッフが事前に状況と講師に対するご要望をお伺いし、適任の講師を派遣いたします。今後の取り組み方で合否が決する勝負の志望校対策にお役立て下さい。

Point 1　入会金不要で入試まで志望校対策を行います
Point 2　体験授業はありません 講師の交代はできます
Point 3　指導料は月毎の後払い 教材費はかかりません

①小6受験生対象で2027年入試まで指導期間を問わず入会金は必要ありません。
②指導料は1時間あたり6,600円～9,900円（税込）となります。この幅は各講師の経験・実績の差によるものです。ご要望をお聞きした上で人選いたします。
③指導料は月ごとの後払いです。実際に行った指導時間分を翌月にご請求いたします。その他、講師の交通費（実費）以外の費用は一切ありません。
④指導は1回2時間でご希望の教科（複数教科可）で受講できます。また、オンラインでの受講も可能です。
⑤体験授業はありません。万一、講師が合わなかった場合には、改めて別の講師を人選いたします。また、途中で講師の交代もできます。なお、指導はいつでもストップでき、解約金などはありません。その時点までに行った時間分の指導料と交通費のみのご請求となります。

◆ 通常コースのご案内 ◆

指導料は完全な後払い

●入会金 33,000円 → 19,800円（税込）
［一家庭1回で兄弟姉妹にも有効 ※広告有効期限：2027年1月末日まで］
●月額指導料 52,800円～79,200円（税込）
［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。
※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
○講師の交通費は実費となります。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。

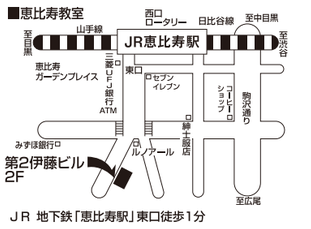
入会の制約のない体験授業

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。

創立40周年
入会金【40%割引】実施
税込 33,000円→19,800円
［一家庭1回で兄弟姉妹にも有効 広告有効期限：2027年1月末日まで］

麻布個人指導会は創立40周年を迎えました。その節目にあたり、入会金40%割引キャンペーンを実施いたします。
講師一人ひとりの経験・実績・人柄などの質と、全体としての層の厚さが創立以来培ってきた当会の最大の強みです。
現状に少しでも不安があれば、この機会にぜひご相談下さい。これまでも、そしてこれからも中学受験を支える家庭教師を派遣いたします。

完全1対1個人指導教室



JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
《受付時間》朝7:30～夜7:00（日・祝除く）※当会は朝7:30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から 03-3440-1940
●HPで最新情報更新中
麻布個人指導会 検索
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F